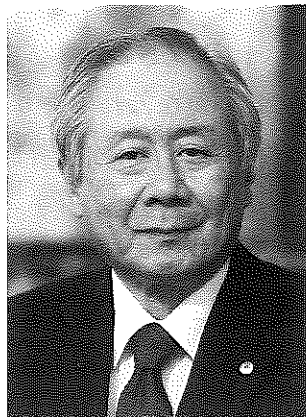


ごあいさつ



日本赤十字社医学会
理事長 宮原 保之
(日本赤十字社 医療事業推進本部 本部長)

この度、本年4月1日付で日本赤十字社医療事業推進本部本部長、日本赤十字社医学会理事長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

本医学会は昭和39年に発足してから今年で55回目の総会を迎えることができました。これもひとえに会員の皆様方のご支援とご協力によるものであり、心から御礼申し上げます。

本年は8月下旬の段階で大きな地震こそ発生していませんが、日本の近海で発生する大型の台風の接近や突発的なゲリラ豪雨、とりわけ九州北部豪雨による災害、近年続いている気温の異常な上昇など、地球環境の変化が以前よりハイペースで進んでいます。これらがもたらす災害において、日本赤十字社による救護・支援活動は全国の支部・病院が一体となり、救護班、災害医療コーディネーターチーム、こころのケア班などが協力して対応できる体制を整えています。

このように、赤十字の災害救護体制が充実してきたことは、国民からの期待に応えているものと、赤十字の存在意義を改めて認識するものであります。

さて、本総会は日本赤十字社に勤務するすべての職員が参加するもので、赤十字事業に関する知識と技術の向上を目的として、医療や血液事業の分野に限らず、幅広い分野からの発表の場となっております。今回の総会の中四国ブロックが担当となり、総会会長を広島赤十字・原爆病院の古川善也院長が務められ、広島赤十字・原爆病院が事務局を引き受けてくださいました。総会では819題にのぼる様々な演題が発表される予定と聞いております。会員の皆様にとって、本総会が施設や職種の垣根を越えた活発な意見交換や情報交換を行っていただける場となれば幸いです。古川会長をはじめ広島赤十字・原爆病院の職員の皆様が相当期間をかけて準備をしてくださいました。

本年度の総会のテーマは、「いま我々が成すべきこと～被爆地ヒロシマから新たな一歩～」です。いまから74年前の昭和20年8月6日、ここ広島の地に人類史上初、また長崎とともに世界で唯一

核兵器が実戦で使用されました。多方面でさまざまな議論がされておりますが、いまだ核廃絶には至っていません。

このテーマを選ばれたのは昨年のもので、被爆から70年以上が経過し、現在の病院職員でさえ原爆や原爆被害のことについてどこか他人事のような空気が流れる中、古川会長の職員自身が知らなければいけないという一言により、被爆当時に病院で勤務されていた先輩職員の方々に当時のお話をお聞きするところから始められたそうです。被爆により数百年は草木も生えないと言われた広島で開催される医学会総会を新たなスタートの第一歩として、赤十字全体に発信していったらとの思いから、今回のテーマを決定したと伺っております。

本年も昨年名古屋での医学会総会に引き続き、次の5つの本社企画が予定されております。医療の質向上委員会と医療事業推進本部による「医療の質・改善活動報告」全国大会in広島、臨床倫理に関する検討部会と医療の質向上委員会、そして医療事業推進本部による第3回臨床倫理フォーラム「DNAR」、チーム医療の推進に関する検討部会と医療の質向上委員会、そして医療事業推進本部による「チーム医療の効果・成果」～「医療の質」「患者の視点」「医療スタッフの視点」「経済的視点」の4つの視点から～、グループ共同事業推進委員会と購買専門部会による第3回赤十字購買フォーラム日赤の共同購入を次のステージへ～専門領域への挑戦～、国際部による国際活動フォーラム～病院ERU導入に向けて～の5つのセッションです。

今回の総会を開催していただく広島赤十字・原爆病院は、昭和14年5月に病床数237床の「日本赤十字社広島支部病院」として設立されました。その後、すぐに陸軍指定病院となり「広島陸軍病院赤十字病院」と改称され、昭和18年11月に「広島赤十字病院」に再度改称されました。

さらに、昭和31年には世界で初の原爆被害者医療の専門病院である病床数120床の「日本赤十字社広島原爆病院」が併設されました。その後、増改築を繰り返した後の昭和61年、広島赤十字病院と日本赤十字社広島原爆病院の合同改築工事に着手し、昭和63年に病床数594床の「広島赤十字・原爆病院」となりました。地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院の指定を受け、地域を支える中核病院としての役割を果たしてきましたが、平成25年から病院再整備事業をスタートさせ、平成29年に完了し、現在は一般病床565床となっております。

最後になりますが、今回の総会の開催にあたり、総会会長である広島赤十字・原爆病院の古川善也院長をはじめ、関係者の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。会員の皆様には、今後とも本医学会、そして赤十字グループのさらなる発展のため、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。